



あいち通信 第八十号

日本会議 愛知県本部
〒464-0836
愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302
E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL:052-763-4678
FAX:052-763-4588

「日本の建国を祝う愛知県民の集い」開催さる



平成二十八年二月十一日、愛知県護国神社校華会館(名古屋市中区)にて、紀元節をお祝いする本集いが開催された。司会は、愛知県議会議員の南部ふみひろ氏。
第一部は、国歌斉唱より開始。参加者全員で日本の建国を寿ぎ、心を込めて斉唱した。次に、日本会議愛知県本部 重富会長より「挨拶。憲法改正署名運動の愛知県での進捗・目標・今後の課題につき、基調を提示頂いた。更なる運動の加速化、疾風怒濤の展開が望まれる。来賓挨拶、はじめに名古屋市長の藤沢議長より「挨拶を頂戴した。続いて、天野まさき愛知県議会議員、東郷つや前衆議院議員からも「挨拶を頂戴した。また、多数の祝電も頂戴した。決議文は、日本青年協議会の森氏にて朗読され、全会一致にて採択された。続いて、「紀元節の歌」を唱和し、大東塾 磯貝正温様のご発声にて「聖寿万歳」にて、第一部を締めくくった。
第二部は、記念講演。「防人が語る、日本のこころ」と題して、伊藤祐靖氏(元 海上自衛隊中佐)に講演頂いた。伊藤氏は、「能登半島沖事件」で現場で指揮をとられていた方である。舞鶴港から出帆する直前まで行先(富山県沖)が告げられなかったこと、国籍不明船(北朝鮮の工作船)を追尾したこと、工作船の異様な船体について



台湾南部地震へのお見舞い

去る2月6日に発生した台湾南部地震によって、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈りいたします。日本会議愛知県本部では、日台若手交流会を通じて、台南市政府に義援金をお送りいたしました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

名古屋西部支部・西春日井支部 合同定例会

平成28年4月12日 火曜日
午後7時 開会 午後8時 終了予定
会場 江場寛一宅
近鉄伏屋駅から北へ500m左側
1階にあんどう皮フ科のあるビルです。
会費 無料
■憲法改正ドキュメンタリーDVD「世界は変わった日本の憲法は？」の上映会をします。
■終了後、希望者にて懇親会を開催します。
会費:実費

知多支部例会

平成28年4月23日(土)
午後2時 開会 午後4時 終了予定
会場 東海市市民活動センター
(名鉄太田川駅前)

報告・名古屋東部支部第二十九回 街頭演説活動実施!

（船尾が観音開きに開閉することができる、通常 船体強度上このような設計はしない）、途中まで共に追尾していた海上保安庁の船が燃料がないとの理由でも新潟港に引き返した（工作船に拉致された日本人が乗船しているかもしれないのに）等のエピソードを手に汗握るほどの臨場感、また息つく暇もない程のスリリングなストーリーを縦横無尽に語られた。また、伊藤氏は、「国家公務員として、国家の意思が見えないほど辛いことはない」とも意味深に語られた。講演後の質疑応答も大いに盛り上がった。
余談であるが、司会の南部ふみひろ氏によると、防衛大学校ではなく（伊藤氏は日本体育大学（卒業）一般の大学より入隊され、なおかつ陸上自衛隊より隊員数の少ない海上自衛隊で、佐官まで登りつめたことは如何にすごいことかと力説されていた。
現代のサムライ、益荒男である伊藤氏の講演を建国の佳き日に拝聴できる機会が得られたことを心から感謝したい。（愛知県本部 事務局 脇山博文）

●開催日時 二月二十一日(日) 午後一時〜午後三時 ●会場 昭和区 御器所交差点南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 四名 ●内容 街頭演説活動 自主憲法制定について「まだまだ厳しい寒さを感じられる中でしたが自主憲法制定についてしっかり訴えさせて頂きました。「憲法を改正して自分たちの国が強くなることは良い事だ」「憲法九条を改正したら軍事大国になるというが、日本人の誰も戦争をしたくないなんて思っていない。もう少し冷静に考えてみるべきだ」「領土的野心を隠そうとしていない中国に対峙していくためにも憲法を改正し国軍を創設すべきだ」など従来の私共の主張に加え、国家緊急事態条項の創設の重要性についても訴えさせて頂きました。また今年の夏には参議院選挙が確実に行われる情勢を踏まえ、憲法改正を選挙の争点にすべきだという事も訴えさせて頂きました。寒さのせいもありチラシをもらって下さる方は若干少ないように感じられましたが、声をかけてくださる方もおり有意義な時間となりました。終了後、近くのファミレスにてミーティングを行いました。☆次回予定 三月二十七日(日) ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」●場所 御器所交差点周辺 ●時間 午後一時〜午後三時 ※終了後、ミーティングを付近の喫茶店にて行う予定です ●お問合せはメール(kakelash_katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽に「連絡の程、宜しくお願致します」。(名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之)

陵墓参拝記 その十四

西日本巡礼の旅、七日目の後半、潮満珠と潮干珠を御神体とする鹿野田神社と同じ西都市内北へ五キロで日向国の二宮、式内、都萬神社があります。御祭神は木花開耶姫命。木花開耶姫命がお酒を醸したことが歴史上もとても古い記述であることから、これが日本酒発祥の地とされています。二礼二拍手一礼。



都萬神社の北西一キロにある石貫神社、この御祭神は木花開耶姫命の御父上である大山祇神です。木花開耶姫命を娶りたい悪鬼に大山祇神は石造の館を所望しますが、完成間近に大山祇神は石を一つ貫きとり遠くに放り投げたいわれがあります。二礼二拍手一礼。

この辺りにはほかに海幸彦、山幸彦が浸かった産湯の「児湯の池」、海幸彦、山幸彦をお産みになった「無戸室」など神話にまつわる旧跡が多くありました。またすぐ近くの西都原古墳群には男狭穂塚、女狭穂塚陵墓参考地があります。被葬候補者は瓊瓊杵尊と木花開耶姫命です。二礼二拍手一礼。

しかし、男狭穂塚、女狭穂塚は時代的に神功皇后の三韓征伐のころのもので、おそろく大和朝廷と関係の深い北部九州の豪族の墓と思われま。その後、西都原考古博物館を見学しました。西都市を後にして日向市に入り、本日の最後の目的地で美々津に向かいました。立磐神社に到着、鳥居の前には大きな石碑が立っています。石碑には「日本海軍発祥の地」とあります。昭和十五年、すなわち紀元二千六百年、その記念事業の一環として神武東征の出発地であるここを日本海軍発祥の地に定めたとのこと、揮毫は時の内閣総理大臣海軍大将米内光政閣下です。立磐神社の御祭神は住吉三神です。二礼二拍手一礼。



一日(月)月末より上京していたが、新幹線にて三日ぶりに帰名。六日(金)早朝、台湾南部にて大地震とのニュースを聞いて驚愕。二週間ほど前に台湾南部を旅行して、まだその余韻が残っていただけに心が痛んだ。被害の軽微なるを祈る。七日(日)第七十七回愛知県護国神社清掃奉仕。いつも参加される方が、初めて奥さんを伴って来られた。帰りの車中、ラジオから北朝鮮がミサイルを発射したとのニュースが流れた。金正恩の高笑いしている顔が浮かぶ。十一日(木)日本の建国を祝う愛知県民の集いを開催。※詳細一面十三日(土)年末より事務所パソコンが不調のため、その方面に強い友人がメンテナンスをしてくれた。おかげでサクサクと動いて快適な操作感を味わう。十五日(月)山田宏前衆議院議員を応援する会に参加。杉並区長時代、それまで荒れていた成人

この日は日向市内のビジネスホテルにチエックイン、近くの焼き鳥屋さんで夕餉。店内には航空自衛隊のカレンダーが掛けてありました。早速大将に声をかけました。ここは航空自衛隊の新田原基地の近くで大将はとも国防意識の高い方でした。憲法改正には大賛成とのこと。さうそく憲法改正署名をいただきました。しばらくすると隣の席に一人の男性客が座りました。その男性は大将の同級生で、美々津出身とのこと。その方は子供には神話教育が必要だ！と力説。すっかり意気投合してしまつて夜更けまで飲み屋さんをはしごしてしまい、しこたま飲んでしまいました。もちろん憲法改正署名は忘れずにいただきました。(愛知県本部 事務局 松川秀康)

式が、特攻隊の遺書を朗読して敵愾に進行するようになった、とのお話に感銘を受けた。十九日(金)久野潤氏主宰の名古屋れきべんに参加。冒頭に、憲法改正DVDのダイジェスト版を上映していただく好意に与つた。終了後の懇親会にも参加して楽しく過ごした。二十日(土)車にて一路伊勢へ。今日から一泊二日で開催される研修会に参加。二十一日(日)内宮早朝参拝。前夜からの雨が上がり、御垣内に入った頃には、樹々の間から朝日が差し込む。天照大御神様のお出ましと思えた。二十五日(木)愛知県議会へ。要路の県議と面談し、憲法改正の趣旨説明を行った。二十七日(土)教育再生機構準備会に参加。愛知県における教科書採択の現状と、今後の課題につき学ぶ。夜、愛媛県より学生時代の後輩が名古屋に立ち寄ってくれたので、旧交を温める。名古屋めしの代表「世界のやまちゃん」で、楽しく過ごした。二十八日(日)日本のミロを大切に。する党のタウンミーティングに参加。二百五十名収容のホールに四百五十名もの聴衆が詰めかけ、大盛會と

なった。同党への関心と期待の高さを実感。この日も主催者のご好意で、憲法改正署名コーナーを設けていただき、百十七筆が集まった。二十九日(月)日本会議愛知県本部役員にて、自民党愛知県連会長の藤川政人参議院議員を表敬訪問。憲法改正運動の現状報告と、今後の賛同者拡大につき協力要請を行った。



愛知県護国神社清掃奉仕予定
■4月3日(日)午前8時開始、9時終了予定。
■引き続き5月1日(日)午前8時開始とします。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
★3月6日は、13名の方に参加していただきました。内3名の方が初参加でした。ありがとうございました。



(3月6日 奉仕後に撮影)
●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。